

平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数
第3学年 建築実習 3単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい
2年次の実習を基礎とし、
①建築分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
②建築分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む。
- 4 年間授業計画 ※ 1班を例示

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1 （ 3	計画 1 7時間	都市計画（まちづくり）	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画に関する理解 模型製作への取り組み 模型の完成度
	環境 1 7時間	環境測定（騒音・昼光率）	<ul style="list-style-type: none"> 機器の取扱いの理解 建築と各環境の要素の関わりへの理解
	設備（電気） 1 7時間	電気工事实習	<ul style="list-style-type: none"> 安全作業への取り組み 電気設備の理解
	木造 1 8時間	木造軸組み工法	<ul style="list-style-type: none"> テーマの理解 道具・工法の理解
	鉄骨 1 8時間	鉄骨組立て解体	<ul style="list-style-type: none"> 作業の安全性への取り組み 適切な機械操作
	施工 1 8時間	内装（下地組立・ボード貼・パテ処理・クロス）	<ul style="list-style-type: none"> 適切な段取り 出来上がり精度

- 5 使用教科書・副教材他
新版 建築実習1・2

- 6 評価方法・観点

出席状況、作業への取り組み、グループ作業での協調性、レポートおよび作品の完成度、他。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。